2026年11月13日

各　位

会 社 名　　Ｈｍｃｏｍｍ株式会社
代表者名　　代表取締役社長 CEO　三本　幸司
（コード：265A、東証グロース市場）
問合せ先　　取締役常務執行役員 CFO　土屋　学
（TEL. 03－6550－9830）

2026年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年11月13日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2026年８月14日に公表した業績予想を下記の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

１．2026年12月期通期連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	1,450	101	100	31	7.92
今回修正予想（B）	1,550	101	100	31	7.92
増 減 額（B－A）	100	－	－	－	－
増 減 率（　％　）	6.9%	－	－	－	－

（注）当社は、2026年12月期第２四半期（中間期）より、従来の単体決算から連結決算に移行しているため、前期実績は記載しておりません。

２．修正の理由

当社グループでは、AIソリューション事業における大規模プロジェクトの増加等により、売上高が前回公表予想を100百万円（6.9%）上回る見通しとなりました。

一方、利益面につきましては、2027年度以降の持続的な成長に向けた成長投資および事業構造改革に推進することから、各段階利益につきましては、前回公表予想を据え置くことといたしました。具体的には、AIエージェント基盤Voice AI Agent Platform（以下、VAAP）関連サービスの機能拡充および競争力強化に向けて、AIエージェント開発およびFDE（Forward Deployed Engineer）等の専門人材の採用を進めるとともに、AI技術に関する研究開発を推進しております。あわせて、販売パートナー網の拡大および継続課金型ビジネスの収益基盤強化に取り組んでおります。また、連結子会社コラボテクノにおいて、2026年９月より「PROJECT FLY2026」を推進し、グループ内の開発リソースの集約、AI駆動開発体制への転換、外部委託業務の内製化およびAI開発人材の育成に取り組んでおります（詳細は、本日公表の「(開示事項の経過) 連結子会社コラボテクノ株式会社の AI 駆動開発体制への転換が進展」をご参照ください。）。これらの投資は、当期の費用負担を伴う一方、2027年度以降のAIエージェント事業における継続収益の拡大と、AI駆動開発による原価構造の改善を目的としております。これらに伴い当期に先行して発生する費用は、上記の各段階利益予想に織り込んでおります。

当社グループは、2026年度を事業規模の拡大と成長基盤の整備を推進する期間と位置付け、2027年度以降は、AIエージェント事業の継続収益拡大と、AI駆動開発による原価構造の改善を通じた収益性改善を目指してまいります。

（注）上記予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以　上